

平成19年度事業報告書

事業の状況

1. 学術研究費助成事業

寄付行為第4条第1号に掲げる事業は、次のとおり総額15,620,000円を実施しました。

①. 研究費助成事業

岡山県内の研究機関に所属する研究者に対する研究費の助成を目的とした研究費助成事業は、平成19年4月1日から同年4月30日まで、大学等の研究機関を通じて一般公募を行いました。

その結果、56件の応募があり、選考委員会において、以下の34件の研究に対し円の助成を行うことを決定し、15,620,000円の助成を実施しました。

1. 万成花崗岩の形成過程と文化・防災地質学

岡山大学・大学院自然科学研究科・准教授・中村 大輔・50万円

2. フッソ化物イオンの高感度蛍光検出試薬の合成開発

岡山大学・大学院自然科学研究科・准教授・高柳 俊夫・45万円

3. 電解錯体合成法の開発と有機合成への応用

岡山大学・大学院自然科学研究科・助教・光藤 耕一・50万円

4. 燃焼圧の直接検知可能な高温圧力センサー

岡山大学・大学院自然科学研究科・教授・岸本 昭・60万円

5. 磁性体を有する低コスト次世代超伝導線材の交流損失低減に関する研究

岡山大学・大学院自然科学研究科・教授・宮城 大輔・50万円

6. 予混合圧縮着火機関におけるイオン濃度履歴の数値解析

岡山大学・大学院自然科学研究科・講師・吉山 定見・45万円

7. 白血球の増殖と分化誘導に関与するリン酸化酵素の解析と白血病治療薬スクリーニングシステムの構築

岡山大学・大学院自然科学研究科・准教授・村上 宏・50万円

8. ガラスの分相現象を利用した都市ゴミ熔融スラグの再資源化

岡山大学・大学院環境学研究科・教授・難波 徳郎・50万円

9. 腐食劣化したコンクリート構造物の耐力評価法に関する研究

岡山大学・大学院環境学研究科・教授・村山八洲雄・50万円

10. 数値解析による離島・沿岸域における塩淡境界と二重揚水による塩水化防止対策の研究

岡山大学・大学院環境学研究科・博士課程・村中 康秀・45万円

11. 二相流の浸透に関する基礎的研究

岡山大学・大学院環境学研究科・博士後期課程・瀬尾 昭治・45万円

12. 界面活性剤を用いた汚染土壌浄化法に関する基礎的研究

岡山大学・大学院環境学研究科・准教授・石黒 宗秀・45万円

13. 中国・四国地方の近世以前の土木遺産の現況調査とその価値判断、保存活用

岡山大学・大学院環境学研究科・教授・馬場 俊介・45万円

14. アレルギー疾患治療に向けた糖鎖薬剤の開発

岡山大学・大学院自然科学研究科・助教・泉 実・70万円

15. 塩ストレス下の植物のアポプラスティックフローの制御機構の解明

岡山大学・大学院自然科学研究科・准教授・村田 芳行・40万円

16. 高度重金属耐性鉄酸化細菌による環境中の重金属浄化及び回収システムの開発

岡山大学・保健環境センター・准教授・竹内 文章・50万円

17. 食細胞サイトカインシグナル伝達を基盤にした免疫監視機構解明

岡山大学・医歯薬学総合研究科・教授・松川 昭博・50万円

18. 新規抗菌剤としてグルタミン酸ラセマーゼを標的とする3-フルオログルタミン酸の立体選択的合成およびその評価

岡山大学・医歯薬学総合研究科・助教・奥田 健介・50万円

19. 口腔癌顎骨浸潤様式におけるCCN2の発現と破骨細胞制御メカニズムの解析

岡山大学・医歯薬学総合研究科・助教・志茂 剛・50万円

20. 乾燥地で生育する小麦の細胞壁の機能特性

岡山大学・資源生物科学研究所・准教授・今野 晴義・50万円

21. カヤツリグサ科の分子系統学的研究

岡山大学・資源生物科学研究所・助教・山下 純・60万円

22. テラ・ヘルツ領域分光を用いた光誘起水素イオン電池材料の研究

岡山理科大学・理学部・教授・若村 国夫・40万円

23. タンパク質化学とゲノム情報科学を活用した未利用生物資源由来酵素の探索とその応用

岡山理科大学・理学部・講師・石原 浩二・40万円

24. セミパラチンスクの核実験場跡の土壌汚染と家畜への核種移行

岡山理科大学・理学部・教授・豊田 新・37万円

25. 統計科学コンテンツの総合的ポータルサイト構築の研究

岡山理科大学・総合情報学部・教授・森 裕一・33万円

26. 新規な食品機能素材としての「有用オリゴ糖」の食物繊維を原料とする製造方法の開発と食品産業への応用

岡山県立大学・保健福祉学部・准教授・中島 伸佳・40万円

27. 鞍関節機構を有する拇指対向型ロボットハンドの開発と産業応用

岡山県立大学・情報工学部・助教・井上 貴浩・30万円

28. 分子動力学法に基づいた刃状転位による析出強化機構の解明

岡山県立大学・情報工学部・助教・福田 忠生・30万円

29. 人間との身体的インタラクションのための握手ロボットシステムの開発

岡山県立大学・情報工学部・准教授・神代 充・40万円

30. 劣駆動ロボットシステムの外乱除去・抑制則の開発

岡山県立大学・情報工学部・准教授・忻 忻・60万円

31. 血糖値コントロール米の機能性評価

美作大学・生活科学部・准教授・高橋 徹・42万円

32. 入居者の身体機能と浴室環境の適用性に関する検討

川崎医療福祉大学・医療福祉マネジメント学部・准教授・松本 正富・40万円

33. 認知症高齢者の居住生活を見守るユビキタスな ICT（情報通信技術）システム

川崎医療福祉大学・医療福祉マネジメント学部・教授・三田 勝己・40万円

34. 血漿性因子による組織リモデリング制御と組織再生への関与

就実大学・薬学部・教授・森 秀治・40万円

②. 海外渡航費助成事業

岡山県内の研究機関に所属する研究者に対する海外渡航費の助成を目的とした海外渡航費助成事業は、平成19年4月1日から同年4月30日まで、大学等の研究機関を通じて一般公募を行いました。

その結果、14件の応募があり、選考委員会において、8件の海外渡航に対して1,500,000円の助成を実施しました。

1. アメリカ化学会シンポジウムにおける基調講演

岡山大学・大学院自然科学研究科・准教授・片桐 利真・20万円

2. 生体触媒を用いた環境調和型物質製造法の開発

岡山大学・大学院自然科学研究科・准教授・依馬 正・20万円

3. Groundwater use and sustainability through artificial recharge

岡山大学・大学院環境学研究科・博士課程・アキラコ ジョン アパノビラ・20万円

4. PREDICTION OF MULTI-DIMENSIONAL SOFT GROUND DEFORMATION WITH OBSERVATIONAL METHOD

岡山大学・大学院環境学研究科・准教授・西村 伸一・15万円

5. FSW7075-T651 アルミニウム合金板継手部の板厚方向の衝撃圧縮応力－ひずみ応答
岡山理科大学・工学部・助教・中井 賢治・20万円
6. Fluid Flow Analysis and Design of a Shroud for Wind Turbine Using ANSYS
津山工業高等専門学校・教授・鳥家 秀昭・10万円
7. Surface heat treatment by anodic electrolysis on AZ91D magnesium alloy
岡山県工業技術センター・専門研究員・日野 実・30万円
8. Defocus Blur Restoration Using Shift-Invariant Wavelet Transform
岡山県工業技術センター・専門研究員・藤原 久永・15万円

2. 学術研究資金助成事業

寄付行為第4条第2号に掲げる岡山県内の研究機関に所属する私費留学の外国人研究者及び研究生に対する研究資金の助成を目的とした研究資金助成事業は、平成19年4月1日から同年4月30日まで、大学等の研究機関を通じて一般公募を行いました。

その結果、20名の応募があり、選考委員会において、以下の5名の私費留學生に対して、総額3,000,000円の助成を実施しました。

1. 異なる光条件下で生育するケネザサの生理生態的特性
岡山大学・大学院環境学研究科・アラ坦花・60万円
2. SYNTHESIS OF PTERIOINE NUCLEOSIDES AS ANTITUMOR AND ANTIVIRAL AGENT
岡山大学・大学院医歯薬学総合研究科・カンダハリ ラフィヤ カン・60万円
3. バングラディッシュの更新世段丘地形の形成過程
岡山大学・大学院自然科学研究科・トウヒダ ラシード・60万円
4. ゴム人口筋を用いた湾曲アクチュエーターの開発とロボットハンドへの応用
岡山理科大学・大学院工学研究科・趙 菲菲・60万円
5. プロダクトデザイン
岡山県立大学・大学院デザイン学研究科・チャン バン ムイ バー・60万円

3. 研究者交流事業

寄付行為第4条第3号に掲げる事業は、次のとおり総額671,056円を実施しました。

①. 交流会事業

この事業は、助成を受ける研究者及び研究生とその関係者の交流並びに情報交換を目的に、平成 20 年 1 月 15 日に岡山プラザホテルで 55 名が参加し、立食パーティー形式の交流会を開催しました。

終始なごやかな雰囲気での交流がなされ、事業費としては、439,351 円を支出しました。

②. 研究発表会事業

この事業は、助成を受ける研究活動の最先端技術の開発状況を研究者が自ら発表することにより研究成果の普及を促し、各分野における技術開発の効率的な推進及び発展に寄与することを目的に、平成 20 年 1 月 15 日に岡山プラザホテルで開催しました。当日は 55 名が受講し、熱心にメモをとる姿や様々な質問がなされ、最先端技術への関心の深さが伺えました。

なお、研究発表者は以下の 2 名で、事業費としては、231,705 円を支出しました。

1. 腐食劣化したコンクリート構造物の耐力評価法に関する研究

岡山大学・大学院環境学研究科・教授・村山 八洲雄

2. 環境汚染物質クロロフェノール分解微生物の認識遺伝子に関する研究

岡山理科大学・技術科学研究所・教授・八田 貴

処 務 の 概 要

1. 役員に関する事項

(平成 20 年 3 月 31 日現在)

役職名	氏 名	就任年月日	常 勤 非常勤 の 別	手 当	現職名	備 考
理 事 長	山 地 弘	H 19. 4. 1	常 勤	無	(株) ウ エ ス コ 代表取締役社長	H10. 3. 17
常務理事	加 納 溥基	H 19. 4. 1	常 勤	無	(株) ウ エ ス コ 顧 問	H10. 3. 17
理 事	河 野 伊 一 郎	H 19. 4. 1	常 勤	無	国立高等専門学 校機構 理事長	H10. 3. 17
理 事	大 崎 紘 一	H 19. 4. 1	常 勤	無	岡山商科大学 副 学 長	H14. 7. 1
理 事	阪 田 憲 次	H 19. 4. 1	常 勤	無	岡山大学大学院 環境学研究科教授	H13. 4. 1
理 事	若 佐 博 之	H 19. 4. 1	常 勤	無	(株) 山 陰 合 同 銀 行 会 長	H15. 4. 1
監 事	松 本 清	H 19. 4. 1	常 勤	無	税 理 士	H10. 3. 17
監 事	福 原 一 義	H 19. 4. 1	常 勤	無	公 認 会 計 士	H10. 3. 17

注) 平成 20 年 3 月 31 日現在の評議員数は、12 名です。

2. 職員に関する事項

職 名	氏 名	採用年月日	担 当 事 務	給 与 月 額	備 考
職 員	小 田 彰	H 17. 12. 01	総務全般	無 給	常勤
職 員	小 林 一 士	H 16. 04. 01	総務全般	無 給	常勤

3. 役員会等に関する事項

ア. 理事会

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
平成 19 年 06 月 28 日	平成 18 年度決算報告承認の件 評議員選任の件 議事録署名人選任の件 平成 19 年度助成対象者について	承認可決された 承認可決された 承認可決された 事務局より報告した
平成 19 年 10 月 24 日	議決権行使承認の件 議事録署名人選任の件	承認可決された 承認可決された
平成 20 年 03 月 27 日	平成 20 年度事業計画及び収支予算承認の件 特定預金の取崩時期及び取崩額承認の件 議事録署名人選任の件 平成 20 年度の行動予定について	承認可決された 承認可決された 承認可決された 事務局より報告した

イ. 評議員会

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
平成 19 年 06 月 28 日	平成 18 年度決算報告承認の件 議事録署名人選任の件 平成 19 年度助成対象者について	承認可決された 承認可決された 事務局より報告した
平成 20 年 03 月 27 日	平成 20 年度事業計画及び収支予算承認の件 特定預金の取崩時期及び取崩額承認の件 議事録署名人選任の件 平成 20 年度の行動予定について	承認可決された 承認可決された 承認可決された 事務局より報告した

ウ. 選考委員会

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
平成 19 年 06 月 27 日	平成 19 年度助成対象者選考の件 議事録署名人選任の件	対象者を決定した 承認可決された

4. 主務官庁等の許可、認可及び承認に関する事項

許可、認可及び承認年月日	許可、認可及び承認事項	備 考

平成 19 年 04 月 04 日	特定公益増進法人	
-------------------	----------	--

5. 契約に関する事項

該当なし

6. 寄附金に関する事項

寄 付 目 的	寄 付 者	領収金額	備 考
運用財産	芝田運輸 (株)	10,000	
運用財産	(有) 通クリック社	10,000	
運用財産	(株) ジッタ中国	10,000	
運用財産	(有) ティーアイシー岡山	10,000	
運用財産	護美飼糧 (株)	10,000	
運用財産	(株) きもと	10,000	
運用財産	(株) 森測量器械店	10,000	
運用財産	美工社デジタルクリエイツ (株)	10,000	
運用財産	コクヨ中国販売 (株)	20,000	
運用財産	(株) 日産フィナンシャルサービス	10,000	
運用財産	富士ゼロックス岡山 (株)	10,000	
運用財産	オリックス自動車 (株)	10,000	
運用財産	岡山プラザホテル (株)	10,000	
運用財産	岡山日産自動車 (株)	10,000	

7. 主務官庁の指示に関する事項

該当なし

8. 税法上の収益事業の有無

該当なし

9. その他の注意事項

該当なし

貸借対照表
平成 20年 3月 31日 現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	1,074,038	1,690,998	△ 616,960
流動資産合計	1,074,038	1,690,998	△ 616,960
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	50,000,000	50,000,000	0
投資有価証券 (基)	396,000,000	582,000,000	△ 186,000,000
基本財産合計	446,000,000	632,000,000	△ 186,000,000
(2) 特定資産			
学術研究助成積立預金	16,300,000	10,000,000	6,300,000
学術研究資金助成積立預金	3,000,000	0	3,000,000
研究者交流積立預金	700,000	0	700,000
特定資産合計	20,000,000	10,000,000	10,000,000
その他固定資産合計	0	0	0
固定資産合計	466,000,000	642,000,000	△ 176,000,000
資産合計	467,074,038	643,690,998	△ 176,616,960
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	17,940	20,280	△ 2,340
流動負債合計	17,940	20,280	△ 2,340
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	17,940	20,280	△ 2,340
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
受贈投資有価証券	396,000,000	582,000,000	△ 186,000,000
受贈定期預金	50,000,000	50,000,000	0
指定正味財産合計	446,000,000	632,000,000	△ 186,000,000
(うち基本財産への充当額)	446,000,000	632,000,000	△ 186,000,000
(うち特定資産への充当額)	0	0	0
2. 一般正味財産	21,074,038	11,670,718	9,403,320
(うち基本財産への充当額)	0	0	0
(うち特定資産への充当額)	20,000,000	10,000,000	10,000,000
正味財産合計	467,056,098	643,670,718	△ 176,614,620
負債及び正味財産合計	467,074,038	643,690,998	△ 176,616,960

正味財産増減計算書

平成 19年 4月 1日 から平成 20年 3月 31日 まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益			
基本財産受取利息	201,095	57,916	143,179
基本財産受取配当金	30,000,000	20,000,000	10,000,000
基本財産運用益計	30,201,095	20,057,916	10,143,179
② 特定資産運用益			
特定資産受取利息	24,696	0	
特定資産運用益計	24,696	0	
③ 受取寄付金			
受取寄付金	150,000	200,000	△ 50,000
受取寄付金計	150,000	200,000	△ 50,000
④ 雑収益			
受取利息	14,918	4,476	10,442
雑収益計	14,918	4,476	10,442
経常収益計	30,390,709	20,262,392	10,128,317
(2) 経常費用			
① 事業費			
学術研究助成事業費	17,120,000	15,480,000	1,640,000
学術研究資金助成事業費	3,000,000	3,000,000	0
研究者交流事業費	671,056	644,718	26,338
事業費計	20,791,056	19,124,718	1,666,338
② 管理費			
会議費	113,883	149,919	△ 36,036
旅費交通費	17,940	20,280	△ 2,340
通信費	48,820	52,309	△ 3,489
租税公課	2,000	1,000	1,000
雑費	31,630	18,630	13,000
管理費計	214,273	242,138	△ 27,865
経常費用計	21,005,329	19,366,856	1,638,473
当期経常増減額	9,385,380	895,536	8,489,844
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	9,385,380	895,536	8,489,844
当期一般正味財産増減額	9,385,380	895,536	8,489,844
一般正味財産期首残高	11,670,718	10,775,182	895,536
一般正味財産期末残高	21,056,098	11,670,718	9,385,380
II 指定正味財産増減の部			
基本財産評価益	240,000,000	0	
基本財産評価損	426,000,000	0	
当期指定正味財産増減額	△ 186,000,000	0	△ 186,000,000
指定正味財産期首残高	632,000,000	632,000,000	0
指定正味財産期末残高	446,000,000	632,000,000	△ 186,000,000
III 正味財産期末残高	467,056,098	643,670,718	△ 176,614,620

財務諸表に対する注記

金額単位：円

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債権並びに子会社株式及び関連会社株式以外の有価証券
期末日の市場価格等に基づく時価法を採用しております。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	50,000,000	0	0	50,000,000
投資有価証券	582,000,000	240,000,000	426,000,000	396,000,000
小 計	632,000,000	240,000,000	426,000,000	446,000,000
特定資産				
学術研究助成積立預金	10,000,000	16,300,000	10,000,000	16,300,000
学術研究資金助成積立預金	0	3,000,000	0	3,000,000
研究者交流積立預金	0	700,000	0	700,000
小 計	10,000,000	20,000,000	10,000,000	20,000,000
合 計	642,000,000	260,000,000	436,000,000	466,000,000

(注) 当事業年度より、満期保有目的の債権並びに子会社株式及び関連会社株式以外の有価証券は、期末日の市場価格等に基づく時価法を採用しております。
投資有価証券の当期増加額は、前事業年度末における帳簿価額と時価の差額（評価益）を表示しております。
投資有価証券の当期減少額は、前事業年度末の時価と当事業年度末の時価との差額（評価損）を表示しております。

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に対応 する額)
基本財産				
定期預金	50,000,000	50,000,000	0	—
投資有価証券	396,000,000	396,000,000	0	—
小 計	446,000,000	446,000,000	0	—
特定資産				
学術研究助成積立預金	16,300,000	0	16,300,000	0
学術研究資金助成積立預金	3,000,000	0	3,000,000	0
研究者交流積立預金	700,000	0	700,000	0
小 計	20,000,000	0	20,000,000	0
合 計	466,000,000	446,000,000	20,000,000	0

4. 担保に供している資産

該当なし

5. 保証債務（債務保証を主たる目的事業としている場合を除く。）等の偶発債務

該当なし

財産目録
平成 20年 3月 31日 現在

(単位：円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
普通預金 (山陰合同銀行/岡山支店)	718,678		
普通預金 (中国銀行/岡山支店)	355,360		
現金預金合計	1,074,038		
流動資産合計		1,074,038	
2. 固定資産			
(1)基本財産			
定期預金 (山陰合同銀行/岡山支店)	30,000,000		
定期預金 (中国銀行/岡山支店)	20,000,000		
投資有価証券 (株ウエスコ2,000,000株)	396,000,000		
基本財産合計	446,000,000		
(2)特定資産			
学術研究助成積立預金 (山陰合同銀行/岡山支店)	16,300,000		
学術研究資金助成積立預金 (山陰合同銀行/岡山支店)	3,000,000		
研究者交流積立預金 (山陰合同銀行/岡山支店)	700,000		
特定資産合計	20,000,000		
固定資産合計		466,000,000	
資産合計			467,074,038
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金 (3月分タクシー代)	17,940		
流動負債合計		17,940	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			17,940
正味財産			467,056,098

収支計算書

平成 19 年 4 月 1 日 から平成 20 年 3 月 31 日 まで

(単位: 円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
①基本財産運用収入			
基本財産利息収入	125,000	201,095	△ 76,095
基本財産配当金収入	20,000,000	30,000,000	△ 10,000,000
基本財産運用収入計	20,125,000	30,201,095	△ 10,076,095
②特定資産運用益			
特定資産受取利息	0	24,696	
特定資産運用益計	0	24,696	
③寄付金収入			
寄付金収入	100,000	150,000	△ 50,000
寄付金収入計	100,000	150,000	△ 50,000
④雑収入			
受取利息収入	20,000	14,918	5,082
雑収入計	20,000	14,918	5,082
事業活動収入合計	20,245,000	30,390,709	△ 10,145,709
2. 事業活動支出			
①事業費支出			
学術研究助成事業費	17,120,000	17,120,000	0
学術研究資金助成事業費	3,000,000	3,000,000	0
研究者交流事業費	700,000	671,056	28,944
事業費支出計	20,820,000	20,791,056	28,944
②管理費支出			
会議費支出	150,000	113,883	36,117
旅費交通費支出	20,000	17,940	2,060
通信費支出	60,000	48,820	11,180
消耗品費支出	5,000	0	5,000
印刷製本費支出	20,000	0	20,000
租税公課支出	5,000	2,000	3,000
雑支出	50,000	31,630	18,370
管理費支出計	310,000	214,273	95,727
事業活動支出合計	21,130,000	21,005,329	124,671
事業活動収支差額	△ 885,000	9,385,380	△ 10,270,380
II 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			
①特定資産取崩収入			
研究助成積立預金取崩収入	10,000,000	10,000,000	0
特定資産取崩収入計	10,000,000	10,000,000	0
投資活動収入合計	10,000,000	10,000,000	0
2. 投資活動支出			
①特定資産取得支出			
研究助成預金取得支出	10,000,000	16,300,000	△ 6,300,000
研究資金助成預金取得支出	0	3,000,000	△ 3,000,000
研究者交流預金取得支出	0	700,000	△ 700,000
特定資産取得支出計	10,000,000	20,000,000	△ 10,000,000
投資活動支出合計	10,000,000	20,000,000	△ 10,000,000
投資活動収支差額	0	△ 10,000,000	10,000,000
III 財務活動収支の部			
1. 財務活動収入			
財務活動収入合計	0	0	0
2. 財務活動支出			
財務活動支出合計	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0
IV 予備費支出	50,000	0	50,000
当期収支差額	△ 935,000	△ 614,620	△ 320,380
前期繰越収支差額	1,670,000	1,670,718	△ 718
前期繰越収支差額調整額	0	0	0
次期繰越収支差額	735,000	1,056,098	△ 321,098

収支計算書に対する注記

1. 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金及び未払金を含めている。

なお、前期末及び当期末残高は、下記2に記載するとおりである。

2. 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳は、次のとおりである。

科 目	前期末残高	当期末残高
普通預金	1,690,998	1,074,038
合 計	1,690,998	1,074,038
未払金	20,280	17,940
合 計	20,280	17,940
次期繰越収支差額	1,670,718	1,056,098